

綱發行  
 編輯人  
 小野上野長  
 松田上野長  
 忠絲田上野長  
 一市門專曲町  
 郎校會所  
 所刷印

## 井上柳梧

然し是れは決して易々として出来得るものではない。非常なる艱難を伴ふものであるが、然し吾々は幾年かゝるうがど、うしても仕遂げねばならぬ仕事である。是れは實に天が吾々に下し給はれたる責務である。吾々は實に此重大事を仕遂げ我國威を益々世界に宣揚し、世界の人類を導き我皇徳の恩恵に浴さしむる様にしなければならぬ運命を持つて居ると考へねばならぬのである。此の如く神の命と考ふる事によりて一層の力が湧き出づるのである。吾々は此重大なる時局に遭遇し吾々の力によりて此難局を克復することを得ると謂ふ事は吾々の榮譽とも考へらるゝのである。

今や事變は軍事行動と併行して重大なる段階に入り本格的の長期建設へと進展

で東方侵略を企て、滿蘇、滿蒙國境に對する武力の集中を爲し露骨なる挑戰的態度を示し我方に脅威を與へんとして遂に戰鬪を開始するに到りたりしが突如滿蒙國境に於て局部的に停戰協定の成立を見ただのであるが然し之が推移は豫斷を許されぬのである。斯かる内外の情勢に鑑みる時、時局の重大性は昨日よりは今日、今日よりは明日と益々増大なるものと見るべきである。

日に月に進歩する科學の進歩と各國の  
儘まざる研究に依つて兵器は非常なる進  
歩を爲し、從て戰爭に要する軍需資材は  
非常に莫大となり且一質に於ても優秀な  
る事が要求せらるゝのである。是れによ  
りて此所要の資材を完全に充實し得るや  
否やは戦局を支配する重大問題となつて

運動器具  
理化學器械  
化學藥品  
度量衡  
計量器  
掛圖全般

は弊店へ

カルニユ一顯微鏡  
山田体育機械  
森本運動具店  
日本出版社  
長野縣代理店

信濃教育品株式會社

サトウ商店

東京本店 電話日本橋(24)二六六番  
長野支店 電話二七三四番  
篠ノ井支店 電話一四一番  
上田支店 電話五七三番  
松本支店

信越線上田驛前 上 村 館 電話上田 3 4 4  
長野縣菅平高原 菅 平 木 テ ル 電話 菅平局1番  
長野縣菅平高原 鐵道省 山 の 家 電話菅平局呼出

東京京橋區京橋三丁目二番地  
電話 京橋(56) 五三二〇番番番番  
〃 〃 五二〇〇番番番番  
〃 〃 五一七四番番番番

特許大和式自動輸送乾燥機  
特許大和式自動人絹乾燥機  
特許帶川三光式乾燥裝置  
特許やま十本イロ  
特許サンコー式濾過淨水裝置  
特許サンコー式廢湯吸熱器  
特許サンコー式高壓ポンプ  
特許サンコー式ラッパ

## 備考 △印減少ヲ示ス

んとする計劃が報導されたり（六月十九日東朝）或ひは輸出並に國用生絲の市場操作及供給數量の調整を圖る爲帝黨會社に對し輸出向生絲の買収及賣渡權を認め政府の内示する價格を以てする輸出生絲の賣買及保管を行はしめんとする企圖ある旨も報ぜられたり（六月二十八日東朝）之が對策に可なり腐心して居る旨が報導されて居る。

四

然し上述の諸計劃が何れも具體的姿をとなつて施行されないうちに、九月早々俄く對米歐洲大戰が勃發し、磅爲幣低落に基く對米爲替の暴落、アメリカ景氣上昇の豫想は絲價を更に暴騰の方向に推し進め、四日當限は千四百圓を唱へ、昭和十四年度の制高値を遙に上廻るに至つた。斯く

し、適

金

國家

のたため國用絲の販賣協定最高價格千六百五十圓の維持が困難となりつゝあるからである。實に絲價は九月を境に、以前は國內價格が輸出價格をリードし、以後は輸出價格が國內價格を指導したのであるが、今また輸出は國內に追隨するに至り互に因となり果となつて遂に二千圓の關門を遙に突破するに至つたのである。加に蠶絲統制は蠶絲類の需要が内外二本に分れ、内需の旺盛を眺めつゝ外貨獲得に向かはねばならぬところに、大いなる困難が存するのである。いづれ上述の各種要綱の多くは近く開催される中央蠶絲會總會に諮問した決定される筈であるが、蠶絲業の將來のため各業者自肅の上、合理的の方策の樹立されんことを願つて止まない次第である。(十四・十二・二十)

**Wissenschaftliche Grundlagen**

纖維化學科新設さる 多年其の増設も要望してゐた纖維化學科が來年度より實々實現の旨正式の通牒があり、目下着々準備中である。荷募集人員は四十名である。母校も製絲、養蠶、紡織と合せ四科となり廣範圍に亘る纖維研究の殿堂となつたわけである。

校友會誌懸賞論文募集 校友會文藝部  
では明年三月發行校友會雜誌に登載する  
懸賞論文を左記論題にて募集中である

1

- 一、代用纖維に關する研究意見
- 二、蠶絲業の一元化問題に關して

三、歐洲戰爭の蠶絲業に對する影響  
尙締切りは明年一月二十日である。

銑後歲末救濟演藝大會資金募集に響應する  
部應援す 信濃毎日新聞社主催、上田市  
社會課、上田愛國婦人會上田國防婦人會  
、上田聯合青年團及び女子青年團後援に  
よる歲末救濟資金募集の郷土演藝大會が  
十二月二、三日の二日間亘り上田劇場  
に於て開催され、其の舞臺に母校音樂部  
も參加應援し好評を博した。プログラム  
次の如し。

一、獨唱  
A 空の勇士、B 月のセレナーデ  
二、マンドリン合奏  
A 悲しき子守唄、B 宵待草、C 伊太利  
の庭  
三、ハーモニカ合奏  
A 校友會の歌、B 別れのブルーズ、C  
アル、の女

宇津夏三君應召 製絲科選科一年生の  
宇津良三君は學期試験を控へて猛勉強中  
突如○○を受け十二月〇日講堂前にて職  
員生徒一同にて行はれた壯行式に臨み、  
直ちに歡呼の聲に送られて勇躍征途に就

いた。

談話會納會 副手會主催に係る談話會の本年度掉尾を飾る納會が十二月九日（土曜）午後一時より千曲會館樓上に於て開かれた。演題及び講師は左の如くである。

尙歸朝早々の林教授より挨拶があり簡單にアメリカに於ける最近の絹業事情を話された。

談話會終了に就いて  
粒子のいろ／＼  
蠶卵胚子の發育上に於ける  
蠶量の消長  
セリシンに關する二、三の考察  
麻絲紡織界の大革新と研究の妙味  
歸朝挨拶

校長先生  
原田先生  
蒲生先生  
奥先生  
市村尙又氏  
林先生

實砲射撃 十二月六日早朝より太郎山  
麓上田實彈射撃場に於て學生實砲射撃が  
行はれた。優秀者次の如く五〇點滿點で  
ある。

三九點 岡田廣太(絲三)  
三七點 井上次郎、菅野正文(各紡二)  
三六點 今田達夫(蠶二)  
三五點 佐藤三夫(蠶三)

林教授歸朝歡迎會 十二月十一日正午  
より千曲會館樓上に於て母校職員一同に  
て林教授歸朝歡迎會を催した。集まる者  
六十有余名を數へ盛大であつた。

**林教授講演** 母校の林教授には上田市商工会の招聘に應じ十二月十五日午後二時三十分より商工会議所樓上に於て「最近に於ける米國の絹業事情」と題し講演された。歸朝早々の暫新なる内容には多

理研學術講演會に與教授、小松助教の二氏出席す 第三十六回理化學研究所學術講演會が十二月十三日より十五日迄三日間同所に於て開催され、母校よりは奥教授、小松助教の二氏が出席聽講した。

學期試験及び冬季休暇 二學期授業は十二月九日迄て十二月より十九日迄試験を行ひ二十日から明春一月十五日まで冬季休暇をすることになった。

集賢孝女室和之興孝

福岡(九州帝大農學部) 福岡(醫科大學)

一、募集人員 約十五名  
一、出願資格 一、高等女學校卒業者又は之れに同等の學力を有す

二、高等小學校卒業後一ケ年以上製絲業に従事せるもの

出願期日 一月十一日(或三月廿一日迄)  
試験科目 數學(算術、代數、平面幾何)、國語(作文を含む)  
試験期日 三月廿六日(午前學科、午後體格檢查、口頭試問)  
試験場所 上田(本校)  
入學志願者心得入用者は三錢切手封入本校教務課宛申込まれた

一日蠶絲馬門魚

菊判洋布函入六三八頁

我が國の蠶絲業は明治中葉以後文字通り飛躍的發展を遂げ、東亞の斯界に君臨し、世界の市場に覇を唱ふるに至つた。茲を以て然し其の間幾多の波瀾が繰返され、研鑿の辛苦が積まれて來た。茲を以て我が蠶絲業を正しく認識し、堅實なる選鑒の辛罰し、或は將來の發展を圖らんとするものは、須らく先づ其の推移の跡を究むべきで、當に本書こそ之が無二の典據である。

即ち本書は其生涯を本邦蠶絲界に委ね、具さに其の歴史を體驗して、あらゆる事業に通暁せられる著者が、斯界の爲に寄せられたる蠶絲體驗の記錄で、明治中葉以後、近時に於ける蠶絲業の浮沈も、關係者の擡まざる努力、學者の研究當局の施設、與論の動向等々、蠶絲業發達の道程と之に關する政策を最も如實に描き出され、空前不應の快著である。

蠶絲業關係の各位には、是非御一讀を切望して止まない。

三、「**實業**」

菊判洋布五〇四頁、摺畫七十二圖  
定價三圓八十錢、送料三十三錢

15-18-19

現下に即應した最も進歩的な桑樹栽培の學理とその應用を遺憾なく解説した斯界の至寶版。

定價三圓八十錢、送料三十三錢

菊判洋布五〇四頁、折詰七十二圖

定價三圓五十錢、送料二十一錢

菊判洋布三三四頁、折詰九十三圖

最近躍進的發展を遂げた土壤學に關する幾多の學說を捉へて然らざる處なく詳述された最も新しい指導書。

車馬

乾燥作用並に乾燥裝置  
繭に至る原料繭保全の

卷三

緒論、養蘭に必要な諸性質を異にする蘭の者

ALL THE ABOVE

蠶體生理

of the

近世  
蠶  
病  
學

卷之三

東京市神田區錦町一  
振替東京一三一九〇



◆新設學科生徒募集

纖維化學科 募集人員 約四十名

入學出願期日、入學資格、試驗期日、試驗科目、試驗場、出願手續、無試験檢定資格等總て他ノ三科ト同様ナリ。

主ナル學科目左ノ如シ。

物理化學、分析化學、膠質化學、電氣化學、生理化學、製造化學、蠶桑化學、絹絲化學、人造纖維論、精練漂白論、仕上論、加工論、色染論、纖維學、應用微生物學、紡織論、應用機械論、纖維原料論等

上田蠶絲專門學校

本會記事

本會日誌

十二月七日 故上田實氏(綠二五)の公葬  
執行せらる、三重支會長に會葬方依頼  
す  
同日 林理事歸校に付上田驛にて歡迎す  
十二月十八日 在田同窓生にて林理事歡  
迎會兼懇親會を開催せり  
同日 黒江文雄氏(蠶二)逝去せらる、電  
報にて弔意を表す  
十二月二十二日 故田田好美氏の公葬執  
行せらる、北九州支會長に會葬方依頼  
す

向上資金寄附

本會向上資金として左記の通り御寄附下さいました、洵に感謝に堪へません、本紙上を以て厚く御禮申上げます。

針塚長太郎先生謝恩  
記念資金受領報告

第三回  
十二月九日  
現在

金九圓也 竹內 博雄  
累計金壹萬〇四百〇壹圓也

內田先生記念品贈呈  
資金報告 (第

七回

金壹圓也  
鷹野 誠一  
吉井 鼎  
石井 宮崎  
公男 連

會費領收

十九  
女口

昭和十四年度會費金四〇也

加々井精喜(蠶土)	森西	康充(絲土)
宮尾三右衛門(絲六)	前田	薰(絲六)
阿久澤孝典(紡四)	小林	瀧太(紡七)

叙任辭令

卒業生之部  
公立實業學校教諭 弓田 弘  
七級俸當分千五百九拾圓下賜(九月十日)  
地方農林技師 山崎 穉  
十二級俸下賜(十一月二十七日)

計報

永らく御病氣にて郷里宮城縣栗原郡若柳町に療養中の黒江文雄氏(蠶二)は薬石の効もなく十二月十五日遂に永眠された旨通知があつた、謹んで御冥福を祈る次第である。

吊慰金募集

故上田 實氏(綽廿五)  
故黑江 文雄氏(蠶二)

以上二氏に對し弔慰金を募集致します。

故上田氏は昭和十五年二月末日、故  
黒池氏は三月末日迄に取纏め御遺族  
へ贈呈したいと思ひ口座東京四三三四  
一〇番へ故人に對する弔慰金の旨御記  
入の上御拂込下さい。

昭和十五年一月

千曲會

弔慰金報告

故大名 昇氏弔慰金  
金五圓也 蒲生 俊興  
金參圓也 酒井 米吉  
金貳圓也 大町 省三  
金貳圓也 川合軍之助

改正彥氏弔慰金

金貳圓也	右合計金五圓也	朝長勝治
累計金八圓也	右合計金四圓也	秦曲會關三四郎
故副田好美氏弔慰金	金參圓也	應野誠一
緊計金貳拾八圓也	右合計金五圓也	曲會
故平山俊夫氏弔慰金	金壹圓也	千曲會關三四郎
右合計金四圓也	累計金八圓也	

御遺族よりの禮狀

拜啓義に父急死の際は一へん御間情下さ  
 り又此の度は澤山の御金をお慰りまし  
 た。僕等の皆芳志有がたく厚く御禮申上  
 げます。僕は子供様の御心持は一生忘れ  
 ません。父の後を繼ぎ皆様の御手傳の出  
 来たる様に宜敷申し  
 上げます。母も皆様に宜敷申し  
 上げました。謹んで御禮申上げます。

拜具

故成澤榮一氏

御啓長男榮一儀生前は一方ならざる御情  
を洩うし感激致し居候此度は御鄭重な  
御香華料を御贈られ候成下誠に難有奉深  
候早速佛前に供へ御芳志を相傳へ申候  
先は以書中不取敢御厚禮申上候 敬具

昭和十四年十二月十日

故上田實氏

御啓向寒の砌御一同様愈御清榮之段奉慶  
賀候  
陳者倅實儀死去の際は重ねくの御供物  
を忝うし御厚志の段恐謝至極に奉存候  
御蔭を以て去る七日滯り無く送葬相濟せ

上田君を憶ふ

三月、雪景色も消え去らんとする昨年の  
にしてから僅か一年有半、固い大きな凝  
りにあつた三十一名の計報を聞くとは  
君を失ひ今又上田君の内報を聞くとは  
の世の無常を感ずる事轉無量なるものが  
ある。

時、上田君は三重縣津中學を卒業すると同  
人に十八歳の若さで製絲科に飛び込んだ  
人だ。體格は二つ年上と言ふのが面はが  
ゆい位多し。本當に學生なら均整のとれた  
のだった。本當に學生活なるといふと勉  
満な人格の持主で、こつこつと勉強し

内  
流  
生

研究すると云ふ態度で、若かつたにも拘らず成績は上の部であり。クラスの誰れかホウ齒の眞新し下駄を履いて、大きな真白なマスクを掛けて公闘わきから毎日通つて來たのを大聲でおお國自慢も、未來の大野望も聞かずにつたへ金で胸の内に見せ難い其れ等誇らしげには満を持して語らぬといふ風に唯これに感ぜられたる本當に底力のある義理にどの君だつたのに「う」

きの字の十番順に並んで出席する同僚の五十人を出した二名を良んく賞賛に引こき出したものとあつた。此實驗は一緒に繰り終るの實習を課せたが何年生とも一前たる君の線セリメリヤージュ目盛と讃えたらよ。」女職言やがないも食へるぞ」と温かな物言ひ振りが目の前に浮ぶ様

一線に立たれる日も遠くはないかつたら愛さるゝ眞面目な研究的な君は立派な上校になる事だつたら尊厳され立派な將校優秀な成績で幹部候補生に採用せられもなく不幸病に罹り身となればは樹の蔭に袖にかかれ多少の縁と共に悲まして同僚釜飯を三年共に暮らす神の仕付た君を卒然失得ない施す術なき者は餘りに我々は哀れてゐる

四月二十二日に呉れた便りで一月十日元氣滿滿と返切つて入營し、戦時に依猛訓練を受け二月中旬の名の下に補正資格者中より十一名の幹部候補生幸か分ち選ばれ一名の中に幸か内閣外では戰間教練室内にて夜も書一時は雨の音も風の音もモルス信號へる思ひが致しましたと書いてある。

實に遂行隊に命ぜられた勤務を本當に眞當の間原隊にあり其の後集合教育を受ける最優秀の十一名に加はれたので僅かにケ月足らずに分遣を命ぜられた組合に入れ教養せられてゐる。其々が三月中旬には肺炎と診断せられる生活を送つたのだ。現在平熱位で入院生活を多分頃迄は病院生活をしながらならぬといふ内にもし愉快な軍隊生活を今頃は又苦しいとのみ思つてゐたのに！突然十一月十七日京都日赤の病院で他界された。君の眞面目な立派な人となりを書きつくすには餘りにも拙劣過ぎ十分言ひ表れない君が残念だ。全く惜しみても餘りあなた君の安らかな冥福を祈るのみだ。

(四・一一・一二)

◎東京千曲會だより

東京千曲會は其位置と使命とが斷然他の支會とは趣きを異にし、或場合が於ては上田の本部以上に活動しなければならぬ立場にあるので全會員の心措へも自然に緊張し、切磋琢磨せざるを得ないので、會合の度毎に名士を招いて親しく其交へ、聲援に接し、膝を交へて相談するの機會を作つて來たが、此度は時局柄鐵絲界に重大關係を有する職業補導、勞働需給等の問題に關し、厚生省職業部長内藤寛一閣下を煩はし、政府要路の責任者としてのその意見を聽取した。

『先づ唐木田會長の紹介の辭に始まる』  
官吏中の逸材として之からぐんぐん伸びて行く人であり、近き將來必ずや大府縣の知事若くは本省の局長、次官となるべき運命を荷ふ人でありますから、私共の同志も又いつか如何なる所で御厄介にならぬとも限らずの故希はくは千曲會と云ふものゝ存在をよく御記憶下さると同時に今は平生は友人御懇意に願つて居ります唐木田の友人達と語るのだと云ふ御氣持で勤任官のいかめしい服は恥じて親しみある内藤さんといふ立場に於て御話を頂き且後刻各會員からの質問に對しても許さず、限り御説明下さる事が出来まするならば、決して獨り吾々へのみの幸福に止らず、廣く蠶絲業界を益する事決して少なからざるを信じ敢て此御願ひを申上ぐる次第であります。(後略)云々』と極めて親しむある紹介を行ひ、次に内藤職業部長起つて約四十分(略)に亘り時局の核心に觸れ、物動計畫、國家總動員法等成立の経緯より勞働力需給の現況芝堂々の論陳を張り野榮一同に深き感銘を與へ、猶朝倉昇、上野榮仁、小林啓介其他の諸君との間に質問應答ありて一旦會を閉じ、食寮を開き、快慶、痛快、歡語、爆笑、煙突の林立と共に氣焔愈々さざまじく正に沸騰點に達せんとする頃、唐木田會長再び起つて改めて定時總會開催に對する挨拶を述べ『今夕の盛會を會員諸君熱誠の表現として感謝し、同窓意識とは決して派閥抗争などのけちな考へではなく、此來曾有の世界變局に處して我輩絲業百年の大計を樹立する爲めに吾等同

谷  
運

志の持つ特徴を最高度に發揮せしむべき地位と心構へとは與へんとする熱意である」と絶叫し、次で唐木田會館議長となつて本年度代議員會提出の議題一本部及東京千曲會の特殊性を認識せしむる件に上提し、野崎清、松村季美、上野榮仁、朝倉昇等々の諸君各々其見解を披瀝し議長採決により満場一致右案を可決し、次で本年度代議員選舉の件を諮り、中選還任の件により議長一任となり、幹事一名増員の件は是又議長一任となり、議長より片倉の三谷勝君を指名し満場拍手し以て賛意を表し、最後に飯塚幹事より會計報告並びに議事を完了し、再び快談歡語語に入り遂に夜の更けるを知らず午後十時過ぎ名残を惜しみつつ、袂を分つた。

鎮江だより

谷澤 衛

小生八月中旬より鎮江郊外四擺渡蠶種製造場に參つて元氣に働いて居ります。故他事乍ら御休心下さい。

當場は街から一里半程離れた田舎に在り、揚子江を眼下に見下し兩方には連山を望み風景は信州高原に似た絶佳な所です。當場は六ヶ所の製種場より成りてその中央に府政權の蠶業壓迫政策として各所に設けられた全國合衆黨參政員會蠶業議講習所なるもの有り、規模は宏大なものです。戰前は蠶種數十萬枚を製造したと云はれて居ります。此れが軍の敵産として會社が借り受け今秋蠶初めて少々原蠶種の製造に取り掛りました。來春からは全製造場を用ひ大々的に製造を行ふ事になつてゐます。尙今年十二月からは日本人三十名、中國人五十名の講習生を養成する事になつて居ります。

鎮江は治安の點に就いては中支でも良好な方でした。が最近偶々長江對岸の高郵作戦以來敗兵が入つて來たため周圍の狀況悪化し、數日前數十名の乘馬匪が襲撃を受けましたが吾が方には何等損害はありませんでした。約三十分程にして撃退しました。敵は勇敢に吾が鐵條網の中に入つてきて居り急射撃に來ました。翌朝見ると内側に手榴彈のため鮮血を残して居りました。

當地は山岳に接してゐる爲何時どんな事があるかも知れません。常に第一線の兵隊さんと同様であり而かも第一の氣持を持つて働いて居ります。(十一月三日)

が茨城支會の總會が去る十

我が茨城支會の總會が去る十一月二十  
六日午後一時より水戸市にて開催された  
出席者八名で、參會不成績ながらも愉快

兵庫千曲會總會

—前號よりの續き—

山崎筑摩

(現酒井豊林大正の先代)十五萬石を喰ひて、白聖路の明政  
世襲して明治維新に至るに於て、姫路城の改修  
高橋鑓然と成し國寶に指定せらる。城内十代の  
景の中心を成し脱獄刑部監退治や、お堀内時  
には宮本武蔵の妖僧場など所説の挿話を傳ふ  
の井戸も、芝居の敷いた所八十八町は一目は  
街跡が多い。街路を園んだ暮早くあるが夕陽は  
城下町を思はれる。暮早くあるが夕陽は

た。山なく皆會場へ會場へと急ぐのであるつ

其の三分の二が宴會場で残りが協議會  
場である。

明公自ら此の名を附したるものと云ふで  
まはしめられたい。築山や泉水を眺  
めながら曲り曲りとした長い渡廊下を行  
けるに百十畳といふ大廣間が現れた。

總會は定刻を迎えること約一時間、定  
評あたる名支會長沖さん司會のもとに開  
會の挨拶、會務の報告等あり、議案もス  
ラに入ると流る。來賓は如く遅れ、續いて宴會  
を得た針塚、井上絳兩先生及び兵庫下曲會  
顧問北尾神戶近にもない大集合であつた。  
八名、近來にないだい集まつた。

宴に入るに先だち支會長の挨拶あり、  
後愛に充ちた母校の御模様に實に上機嫌學  
校數十分に拜聴したのであつた。其の御  
話中に次の如きこともあつた。

學生の寄宿舎をもつと擴張して全校の  
の一大擴張が必要である。此の擴張費を  
寄附の御意向より寛裕な卒業生の手にか  
から最近行はれた有明原に於ける學生の野  
外演習にて休憩中に無作法の學生の村の處  
女會員總會の接待に特には腹を折つてお  
子が見え食事を待つてゐた。先生は懇知事  
と査問なされた。英妻が見度知事と共に様  
た。最後に今日の御感想の一書を賜つて

教へ子も教へし人も髮弄けて  
むかし語らふ今日の樂しさ

と云ふ人もあつた。皆有難く拜聞し、  
兵庫は自慢の酒の本場、その上當地の  
美形十數の酒問の輪旋にて、やがて饗  
たる和氣が廣間の姻嫁にまで落込んで  
つたが、姫路小唄に姫路節を合せた三  
つたが、盆の数はぐんぐん進んで行き  
と聲は高くなる。酒宴なかばにして緊  
刻非上校長。それは本日御意ある。曰  
に有難き一首を頂戴した。その句に「  
髪を引く事あるに、髪を引く事あるに  
ては、髪を引く事あるに、髪を引く事  
子Sさん、Oさん、Yさん、Zさん、  
光つて居た爲め此の一句が表現せら  
此の意味に於て右三人は彼方の舞臺  
へて、三度低頭すべき責任あるものと  
婦人であつたが、隣席の者の引留め  
此の動議は中止せられたが、情進つ  
の彼方の舞臺を背景に本日の記念撮  
なされたのであるが、果して光頭をし  
囁かれた御仁もあつた事であらう。か  
て文通り散喜の坪場と化した。井上  
は殊の外御氣嫌の御様子にて、お盆  
輩の席の方にまで來られてお盆を下  
のであつた。

我北尾顧問には、會て帝都にて學  
同じうせられた。遠方より御出でな  
同様に御見受けした。互に御寛談な  
しに御多用中を應へ御來陽は、同窓  
ごやかなる空気に接しては御氣嫌な  
すと云ふ御様子である。まことに我  
會の光榮の至りにて一同深く感謝  
上る。井上先生には同日の夜行にて  
温ねばならぬ。御由にて、東奔西走  
存じ、玄關にて御見送り申し上げ  
道中の御無恙を御祈りしたのであ  
針線類に御笑はれた。この意義ある  
始終終顔に御喜ばれた。母校生に  
衷心最も御喜ばれた。母校生に  
つた大親と御喜ばれた。母校生に  
先生には姫路にお宿泊なします。此  
聖日は悠々自適白鷺城其の他の名  
にお訪ね下さいます。様祈つた。  
十時の列車を目であつた。酔眼朦朧  
顔、顔、顔が停車場のあちこちに見  
れたが……

この頃の新報紙上にて「母校纖維化  
科」新設の趣を拜見し、御同慶の至  
えず、母校並に千曲會の限りなき  
新筆を擱く。

會員動靜 (十二月五日)

早乙女新一郎 (新職) 召集解除 (勤) 松本市、長野縣工業試驗場 (住) 松本市港  
四方 定雄 (勤) (住) 新東京市樂禮胡同六 (通信先)  
萩原 幸風 (勤) (住) 京都府綾部市、那根製絲株式會社 (住) 綾部町横町  
仲内 武 (勤) (住) 秋田縣雄勝郡湯澤町、秋田縣蠶業取締所 (住) 湯澤町  
山岸 光明 (勤) (住) 群馬縣高崎町、群馬縣蠶業取締所 (住) 高崎町  
古越 光明 (勤) (住) 長野縣上高井郡須坂町、上高井蠶業學校  
石附 文吾 (勤) (住) 須坂町立町  
關 辰雄 (勤) (住) 華中蠶絲株式會社無錫支店  
太田 元 (勤) (住) 長野縣埴科郡屋代町、屋代高等女學校  
原 治夫 (勤) (住) 奉天市鐵  
西澤 良一 (勤) (住) 奉天市加茂町八號、滿洲棉花株式會社 (住) 奉天市鐵  
川谷 壽一郎 (勤) (住) 西區甘露街一段九號、滿洲棉花株式會社 (住) 奉天市鐵  
關 熙 (勤) (住) 同縣公署官舍二八號、靜岡支會  
丸山 秋松 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
中 全 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
佐藤 裕三 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
長末 方夫 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
坂卷 文彦 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
村山 正夫 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
山田 正夫 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
井野 正夫 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
山田 良人 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
松井 憲二 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
滿澤 佐俊 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
有賀 正治 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
濱田 秀彌 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
大橋 富治郎 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
岩本 一郎 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
植田 實 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校  
古平 太三 (勤) (住) 召集解除 (勤) 長野縣北安曇郡池田町、池田實科中等學校

謹賀新年

謹賀新年

農業藥品 化粧品  
純良藥品 寫真材料  
三共農業藥品ウズアルン  
東信代理店  
上田市海野町  
合資會社 河合商會  
電話 (海野町營業所) 二七  
八二五

謹賀新年

信濃路の旅に！  
善光寺詣りに！  
母校訪問の折に！

清流千曲川畔  
戸倉温泉

千曲會指定旅館

笹屋ホテル

電話 戸倉 一三番 (別館)  
三三番 (別館)  
三四番 (別館)  
上山田 一七番 (別館)  
東京出張所 下谷 (83) 六六四五番

謹賀新年

御入信の節は  
何卒御光來を！

上山田温泉

千曲會指定旅館

清風園

電話 上山田代表 五六番  
上山田 一三番 (別館)  
上山田 一四番 (別館)  
別館電話 上山田 一四番

御静養には  
感じの好い別荘を

謹んで

興亞の新年を賀し  
各位の御健勝を祈る

昭和十五年元旦

千曲時報編輯部

小松忠一郎  
町田博  
市原文雅  
久保藤一

謹賀新年

千曲會指定旅館

信州戸倉温泉

上田館

電話 戸倉 二七番

信州上山田温泉

家庭風呂  
浴室付別荘

圓山莊

電話 上山田 一〇九番  
戸倉 七五番

編輯室より

△ 輝く皇紀二千六百年の元旦は正に來た。會員諸兄御目出度う。二千六百年を一東にして挨拶しても未だ物足りない様な気がする。之から数多い國家的式典が舉げられる事だらう。亦後代に遺さる可き幾多の記念事業も計畫されたり、着手する事だらう。本會も社團法人改題や記念講演會開催等に意氣込んで居る。本時報は本時報は又十巻を邁へんとする好期に四六倍版に改めて諸兄の前にデビュウし度いと思つて居る。  
△ 何時も御馴染の小泉教授から長文の御寄稿を頂戴して感謝して居る。十四年度蠶絲業界を回顧する内容で、兎角難事多く懸念症になりやすい吾々の頭を整理させて貰ふには都合が宜い。正月號には相應しいと思つて二面に盛つた。  
△ 十一月に開かれた代議員會の記事が遅れて相済まぬ。實は此の記事だけは今度本會員にのみ別送して見たならばと種々研究して居つた關係上こんな遅くなつて終つた。何れ其中には段々妙案も出來ると思ふ。  
△ 多數の方々が年賀挨拶を御出し下さつて有難う。此の方も年々増加の傾向があつて頼む。何かと紙上を御利用下さる様になれば私經濟はさる事ながら、始めて會員の時報として生きるものであつて編輯者としても努力する甲斐があると云ふものだ。

謹賀新年

優良蠶種案内

◎ 昭和十五年度春蠶種

× 分離白一號 絲質特優

× 龍華江仙 絲量最多 太並ニ細兩種

◎ 優良品種……適地分場

廣島縣御調郡奥村綾目八七六

蠶種業 小川保

電話 市村局十一番 (甲) 本宅 (乙) 蠶種部

◎ 電報市村局別便配達料不要